 **“関西心理センター・谷町こどもセンター事例検討会”のご案内**

★臨床心理士資格認定協会の研修証明書は、定められた基準に基づいて申請いたします。

連絡先：　関西心理センター・谷町こどもセンター事例検討会　事務局

メールアドレス：kansaicasestudy@excite.co.jp

**＜お申し込み方法＞**

下記のメールアドレスにて、件名は“事例検討会申込み”で、①氏名（ふりがな）、②性別、③年齢

④住所、⑤電話番号、⑥連絡先メールアドレス、⑦所属先、⑧職名（医師、臨床心理士、院生等）

⑨臨床経験の年数、⑩臨床心理士番号をご記入の上、お申し込みください。12月15日以降に、

参加の可否、振込先等、詳細を送信いたします。

**≪内容≫**

【時期】：平成29年１月～12月（２月と８月はお休み）、各月の第２土曜日　年10回

【時間】：19:00～21:00

【場所】：谷町こどもセンター（大阪市中央区谷町９丁目　最寄駅：谷町線・千日前線　谷町九丁目）

【対象】：臨床心理士、精神科医、心理臨床を学ぶ大学院生、その他心理臨床に携わっている職種

　　　　初心者～中堅、本事例検討会に事例を出せる方　守秘義務が厳守できる方

【料金】：39000円（通年）

【申込期日】：平成28年12月15日（木）

【定員】：20名

**≪コメンター≫**（50音順、敬称略）日本精神分析学会認定スーパーヴァイザー、

認定精神分析的精神療法医or認定精神分析的心理療法士

【精神科医】：館直彦（たちメンタルクリニック/大阪市立大学大学院）

【臨床心理士】：日下紀子（関西心理センター・谷町こどもセンター）、

黒河内美鈴（高松心理オフィス）、鈴木千枝子（帝塚山学院大学大学院）、

津田真知子（大阪心理臨床研究所）手塚千恵子（大阪心理臨床研究所）、寺井さち子（龍谷大学）姫木真由美（御池心理療法センター/岡クリニック）、他

　　皆様方におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。このたび、精神分析的な視点を生かした心理療法を学ぶための事例検討会を立ち上げましたので、ここにご案内いたします。

　　受講対象者はまだ経験の浅いセラピストから中堅の方です。初心者の方の教育、訓練的な意味も含めて丁寧に事例から学び、心理臨床現場での実践へと還元していけるような検討会にしていきたいと考えています。そこにはやはり精神分析的な視点からの理解が役立つと我々は考えています。精神分析的にできているのかわからない、隔週でしかセラピーをしていないという事例でもかまいません。この検討会に必要なのは真摯に心理療法に取り組みたい気持ちだけです。１年間、固定のグループで一緒に学びや横の繋がりを深めていきたいと思っておりますので、ふるってのご参加をお待ちしております。

（尚、事例はプレイセラピーも含みます）

また本事例検討会は精神科医と臨床心理士の２名のコメンターがつきます。精神科医の館直彦先生には毎月ご参加いただき、精神分析的な視点はもちろんのこと、医師として精神医学的な視点（処方箋の内容等）からのコメントもまじえ、参加者を含めて活発に議論を深めていく形式です。